

当院における血糖コントロール不良者 への栄養指導について

医療法人社団茨腎会 太田ネフロクリニック

○宇野 香 黒羽 浩子 小沼 しのぶ 高橋 智仁 二階堂 剛史 酒井 信一郎

目的

現在、透析新規導入患者の原疾患で糖尿病は首位を占め、血糖コントロールによる合併症予防の重要性は増している
今回我々は、GA20%以上を合併症予防の対象とし、食事指導を重点的に施行したので報告する

対象

糖尿病性腎症患者 27名

(GA20%以上40名中拒否・認知症・死亡を除く)

男性 20名 女性 7名 計27名

平均年齢 68±10歳

方法

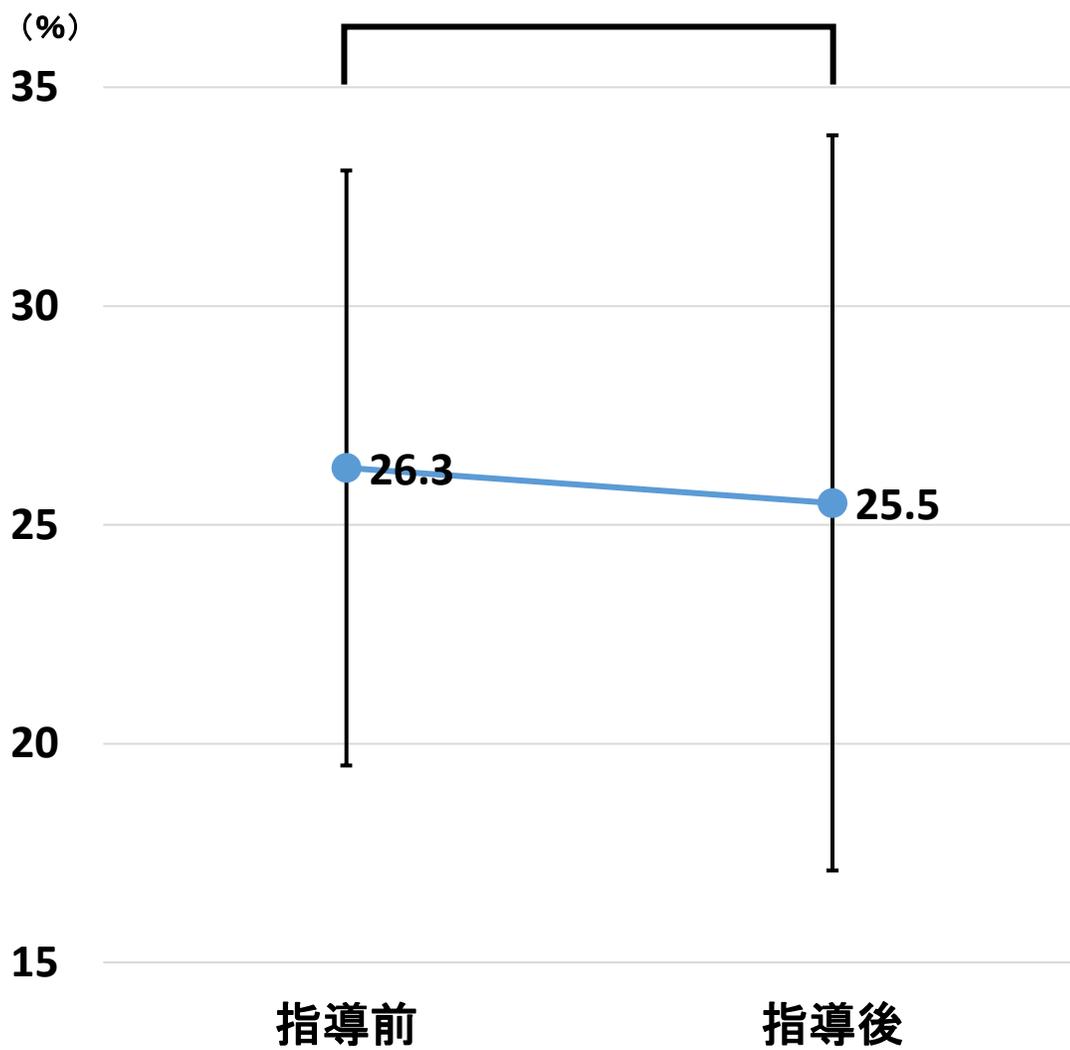
●H26年9月～H27年2月までの6ヶ月間、月1回の栄養指導を試みた

●栄養指導後アンケート調査を実施し、検査データと共に栄養指導の効果を検討した

GA

n.s.

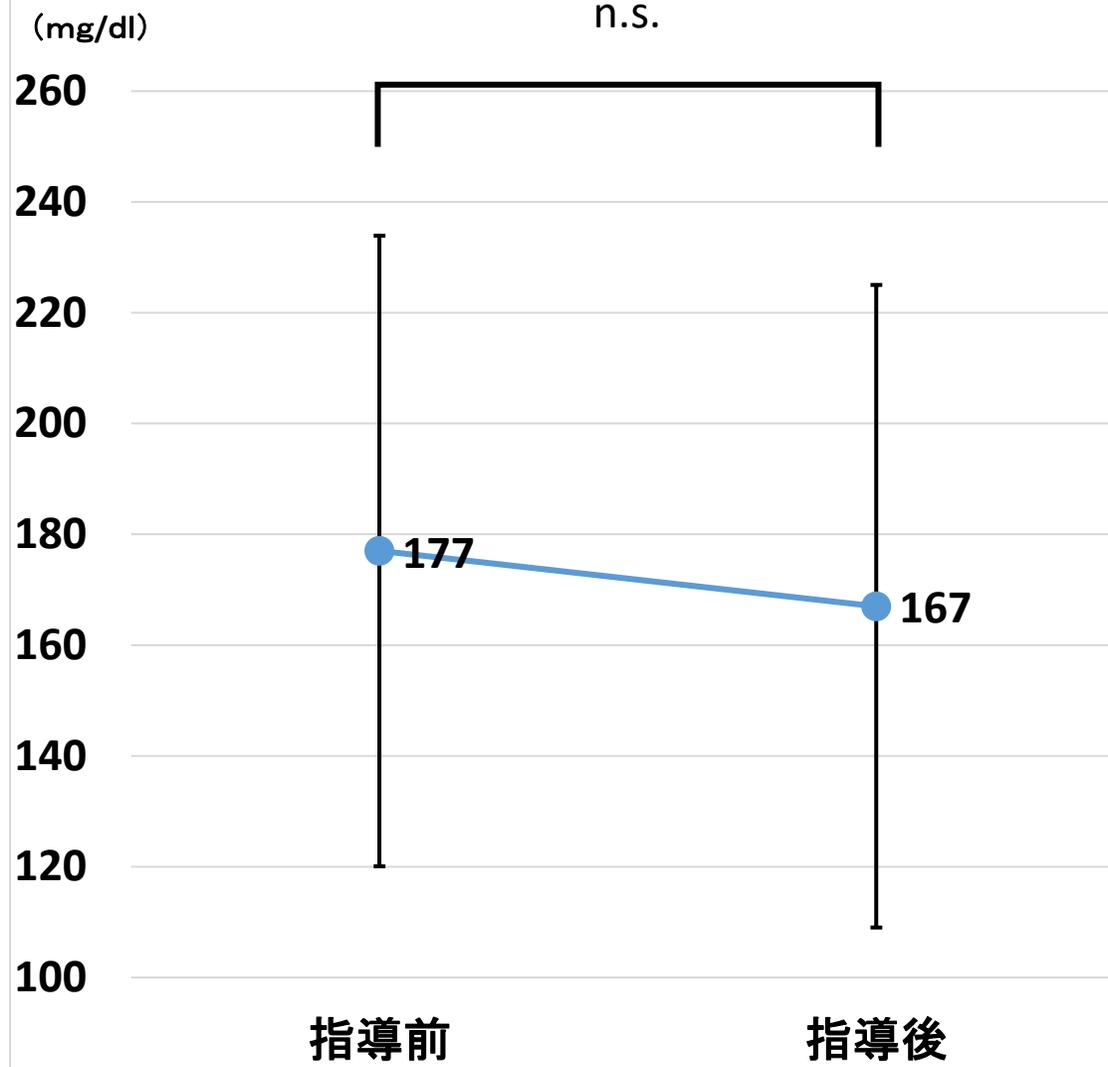
n=27

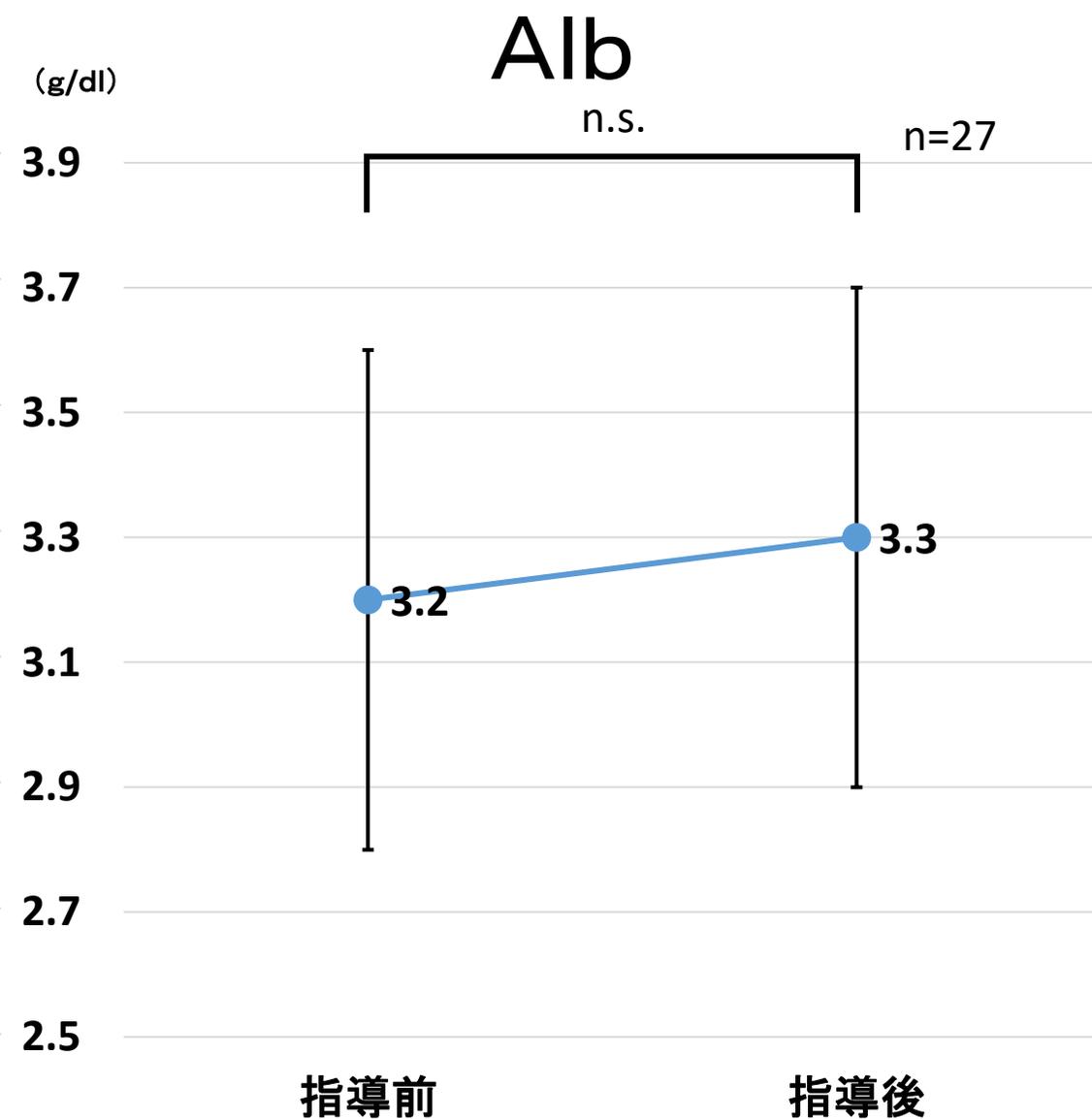
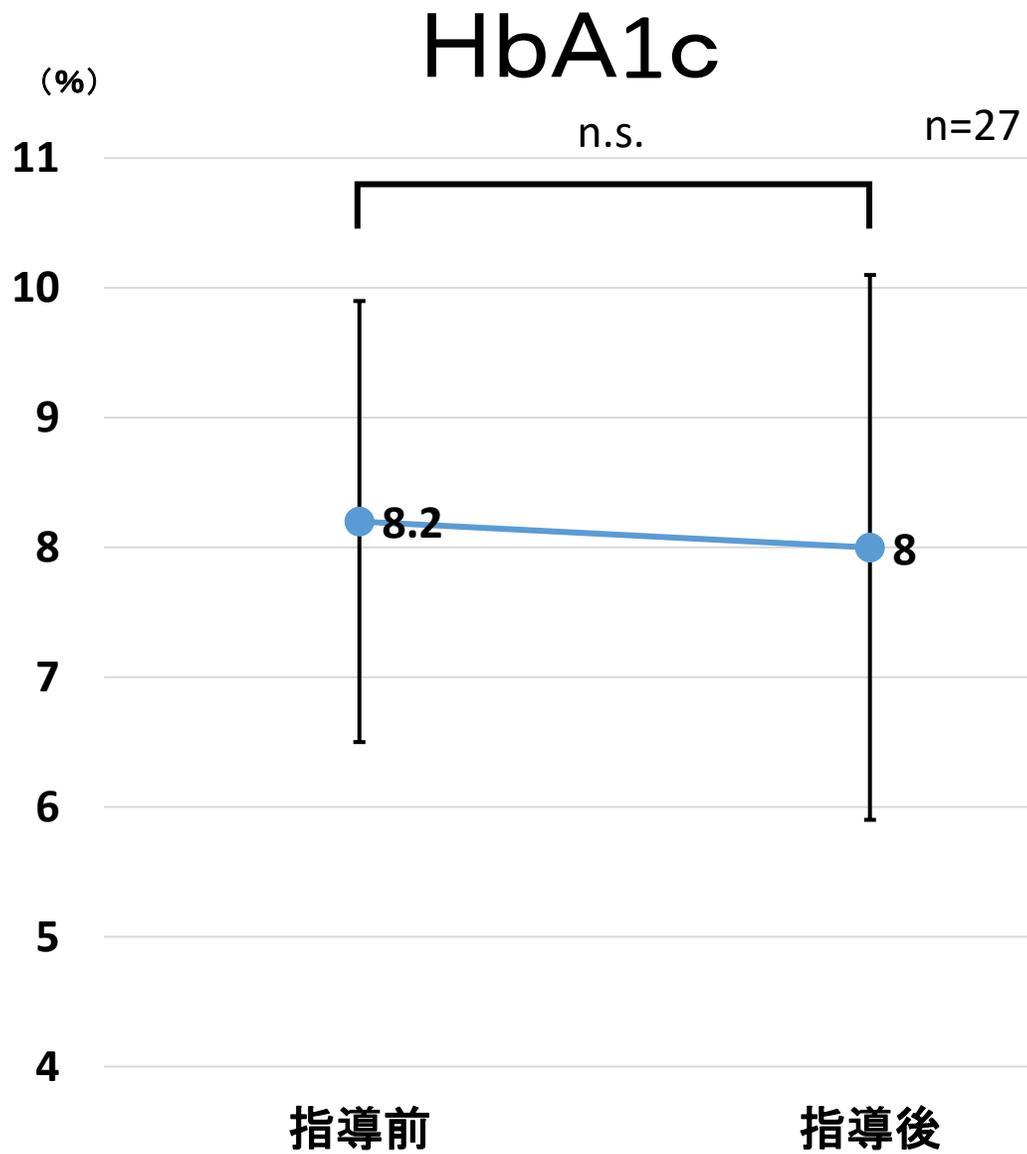


GLU

n.s.

n=27



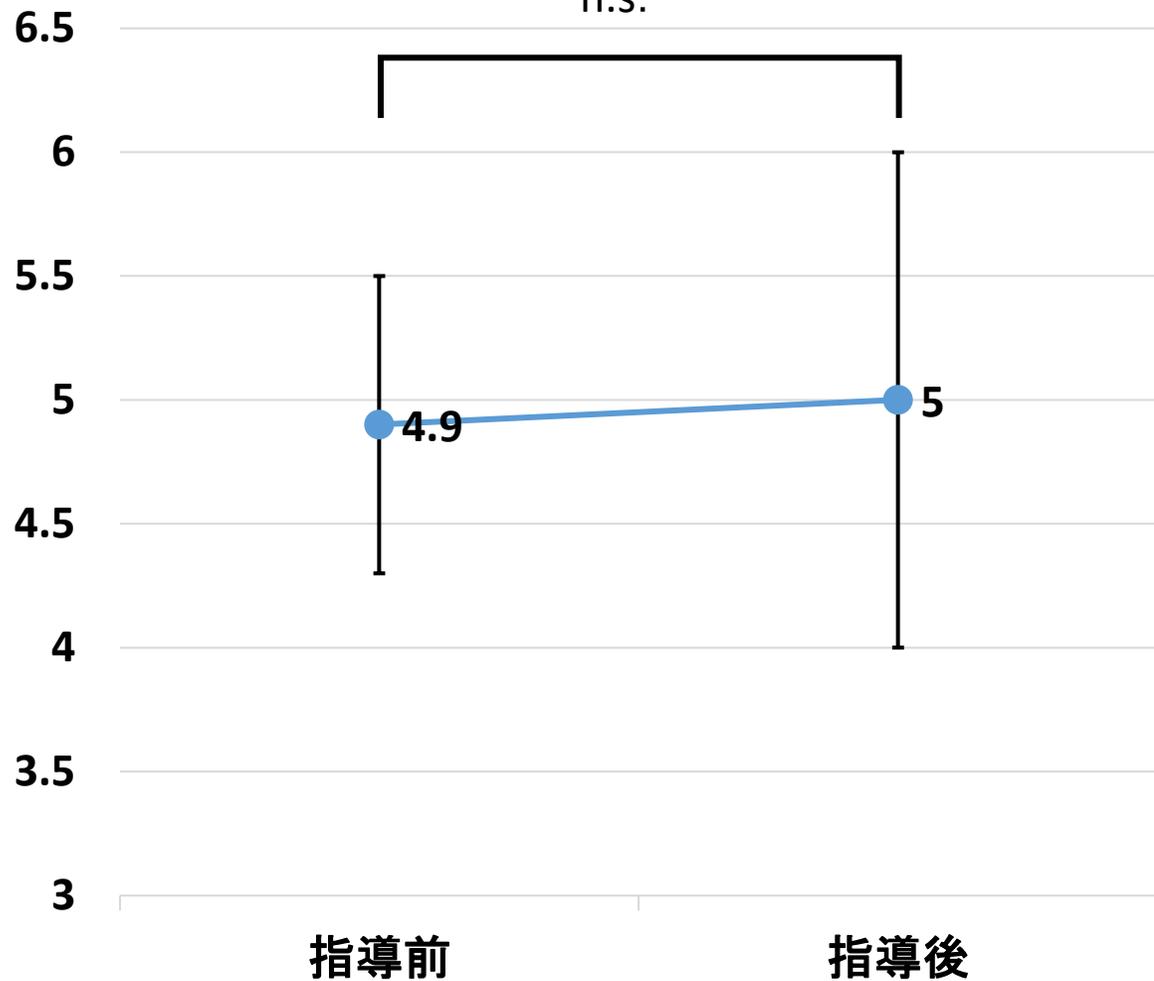


(mEq/l)

K

n=27

n.s.

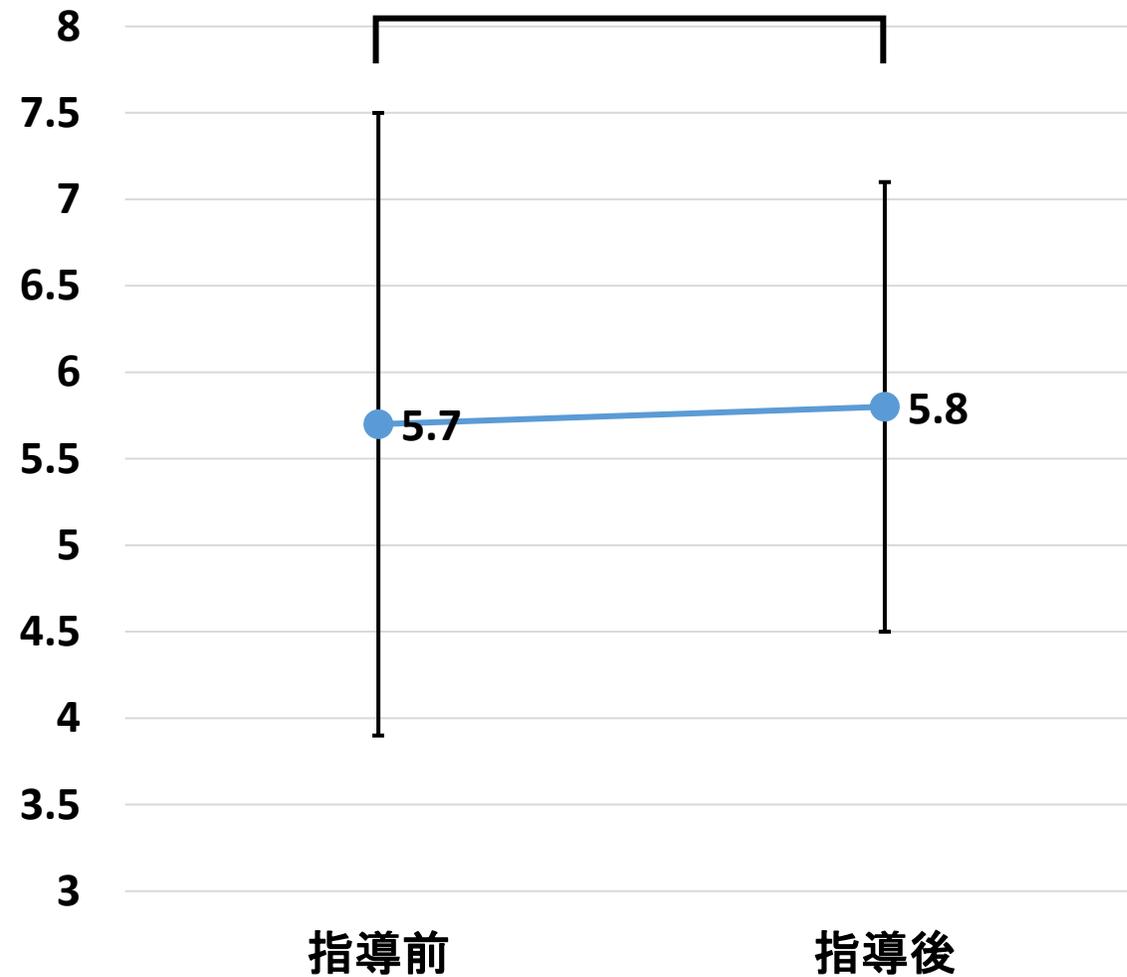


(mg/dl)

IP

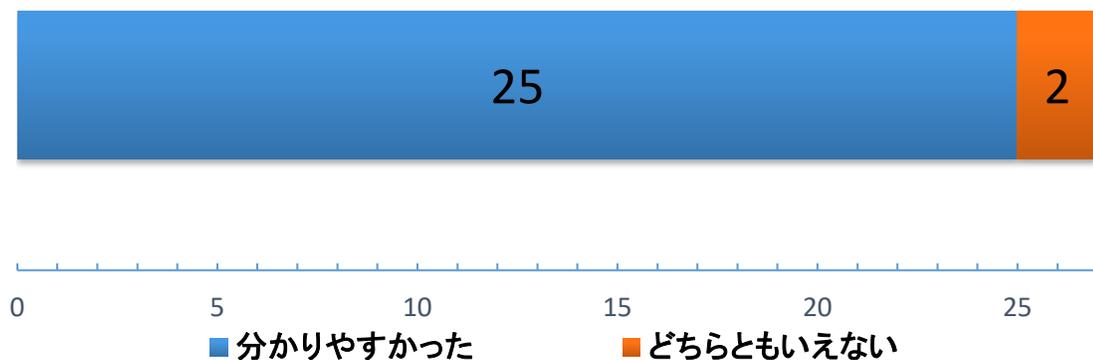
n=27

n.s.



アンケート調査

1.話の内容は分かりやすかったか



2.指導の時間は適切だったか



3.食生活に変化はあったか



4.今後も栄養指導を受けてみたいか



アンケート調査



4. 以前と比べて具体的に何が変わりましたか？

- ・仕事の都合で外食が多いため、頂いた資料を参考に食事に注意するようになり、体調の維持に役立っている
- ・食事の内容を考えて食べた
- ・冷凍食品、加工食品に気を付けている。炭酸ドリンク、間食を控えている



6. その他感想・意見をお聞かせください

- ・自分のことなので時々意見を聞きたいです
- ・具体的に説明してもらったのでよかった
- ・年々、体の状態と食事内容が変化すると考えられる為、指導を受けながら体調管理をしたい



結果

1. 栄養指導開始前後で

改善が見られた患者**17名**、見られなかった患者**10名**

GA20%以下：**3名** 20～25%：15名→14名 25%以上：12名→10名

●GA26.3%→25.5%(減少率3%)：n.s

●GLU177mg/dl→167mg/dl(減少率5.9%)：n.s

と有意差は見られなかった

2. HbA1c、Alb、K、IPに変化は見られなかった

3. アンケート調査の結果、栄養指導後食生活に改善が見られた患者と今後も栄養指導を受けてみたいと感じる患者が63%見られた

考察

1. 指導の結果、GA、GLUで有意差が見られなかったのは、指導直後は食事内容に注意するも持続性に問題があり回数を重ね根気よく指導をしていくことが必要と感じた
2. 一方で食生活に変化が起こらなかった患者もいたことから、長年の生活環境・食生活を変えるのは難しく、今後の課題である
3. 個人の生活リズムに合わせた指導と、季節ごとに変化する食材、気温によって変化する生活環境に合わせて指導していく事が大切だと感じた

結語

定期的に指導に入ることによって、患者の食生活に対する意識を高めることができた

今後は、看護師との連携を図り、患者の情報収集と個人の問題点を1つずつ改善し、血糖コントロールが良好に行えるよう栄養指導を積極的に行いたい

茨城人工透析談話会 COI開示

筆頭発表者名 宇野 香

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係
にある企業などは、ありません。